

村のお財布事情

—平成30年度の決算報告—

皆さんの納めた税金等がどのように使われたのかをご報告します。なお、詳しい資料は企画経営課(役場行政棟3階)で閲覧できるほか、村公式ホームページでもご覧いただけます。

■問い合わせ 企画経営課財政経営担当(☎282-1711 内線1334)

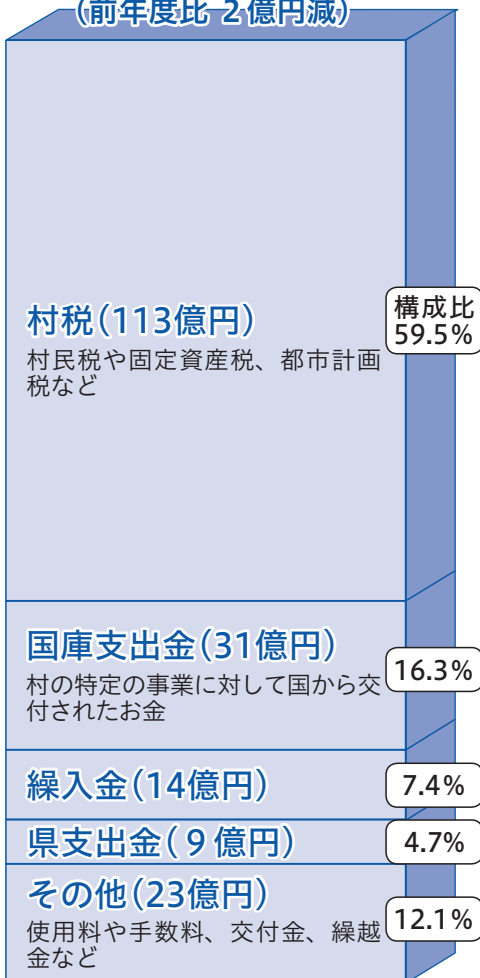
一般会計

福祉や教育、道路の整備等、村政運営の基本となる会計です。

歳入	歳出	差し引き
190億円	184億円	6億円



歳入 190億円 (前年度比-2億円減)



主な事業
▽病児・病後児保育施設整備事業
▽自立支援給付費

主な事業
▽阿漕ヶ浦公園改修工事
▽東海駅西口広場再整備工事

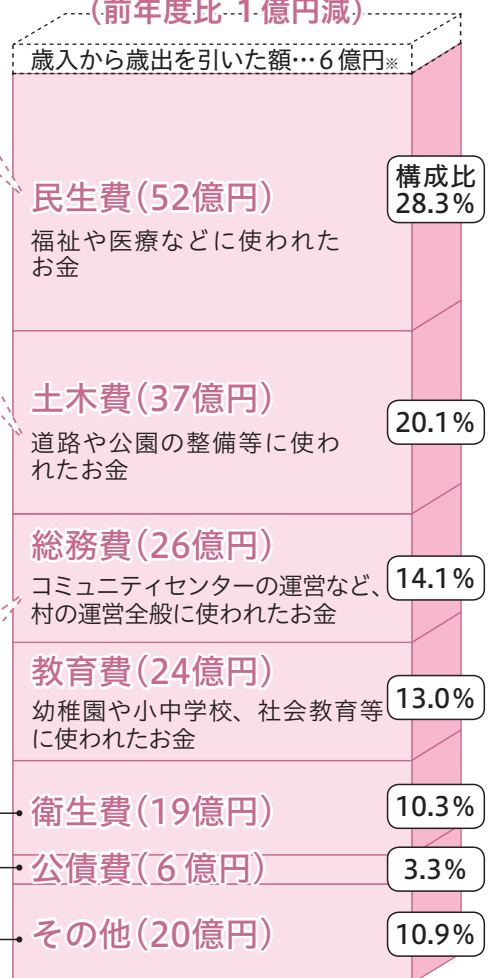
主な事業
▽コミュニティセンター内装改修工事

保健衛生や環境衛生、ごみ処理などに使われたお金

村債の元金や利子の償還等に使われたお金

議会・消防・商工・農林水産業に使われたお金

歳出 184億円 (前年度比-1億円減)



民生費(52億円)
福祉や医療などに使われたお金

土木費(37億円)
道路や公園の整備等に使われたお金

総務費(26億円)
コミュニティセンターの運営など、村の運営全般に使われたお金

教育費(24億円)
幼稚園や小中学校、社会教育等に使われたお金

衛生費(19億円)

公債費(6億円)

その他(20億円)

※歳入から歳出を引いた6億円のうち1億円を令和元年度に実施する事業へ繰り越すため、実質的な差額(実質収支額)は5億円となります。その2分の1の金額を基金として積み立て、今後の支出に備えます。

特別会計

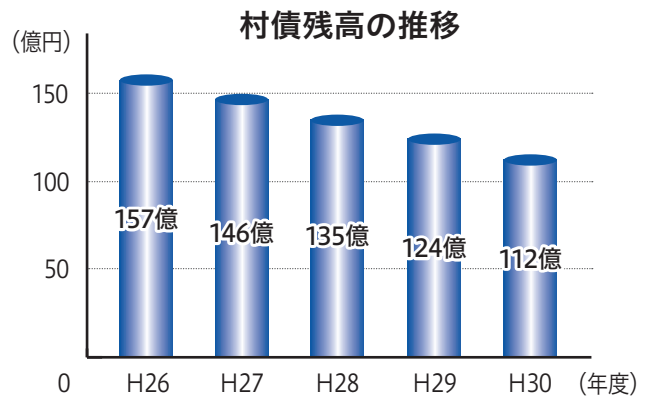
公共料金や利用料など特定の収入を、国民健康保険や介護サービス、下水道といった特定の事業に充てる会計のことです。

事業名	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険事業	31億5,366万円	31億3,306万円	2,060万円
後期高齢者医療	4億4,105万円	4億3,563万円	542万円
介護保険事業	27億4,846万円	25億2,513万円	2億2,333万円
介護サービス事業	470万円	397万円	73万円
東海駅西土地地区画整理事業	1億9,700万円	1億5,298万円	4,402万円
東海駅東土地地区画整理事業	1億8,130万円	1億7,479万円	651万円
東海駅西第二土地地区画整理事業	5,303万円	4,711万円	592万円
東海中央土地地区画整理事業	10億2,310万円	7億9,062万円	2億3,248万円
公共下水道事業	17億1,822万円	15億345万円	2億1,477万円

村債

国や金融機関から借り入れたお金です。

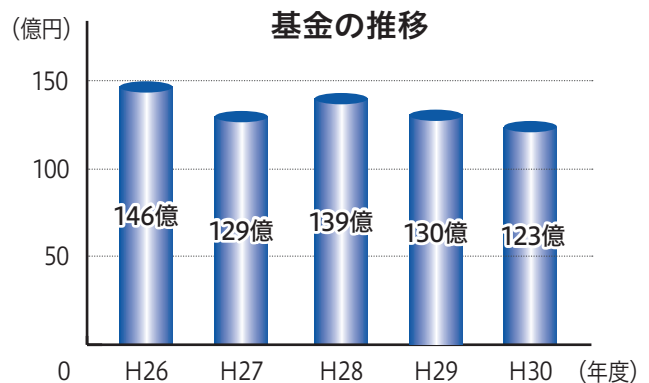
区分	残高	増減率 (前年度比)
一般会計	22億6,437万円	△20.8%
公共下水道事業	58億9,232万円	△6.0%
水道事業	17億7,047万円	△6.5%
病院事業	12億7,151万円	△4.9%
合計	111億9,867万円	△9.4%



基金

将来の支出等に備えて積み立てておくお金です。

区分	現在高	増減率 (前年度比)
財政調整基金	73億6,498万円	4.8%
減債基金	16億5,530万円	△26.4%
特定目的基金	25億4,065万円	△13.8%
定額運用基金	7億8,304万円	0.0%
合計	123億4,397万円	△5.1%



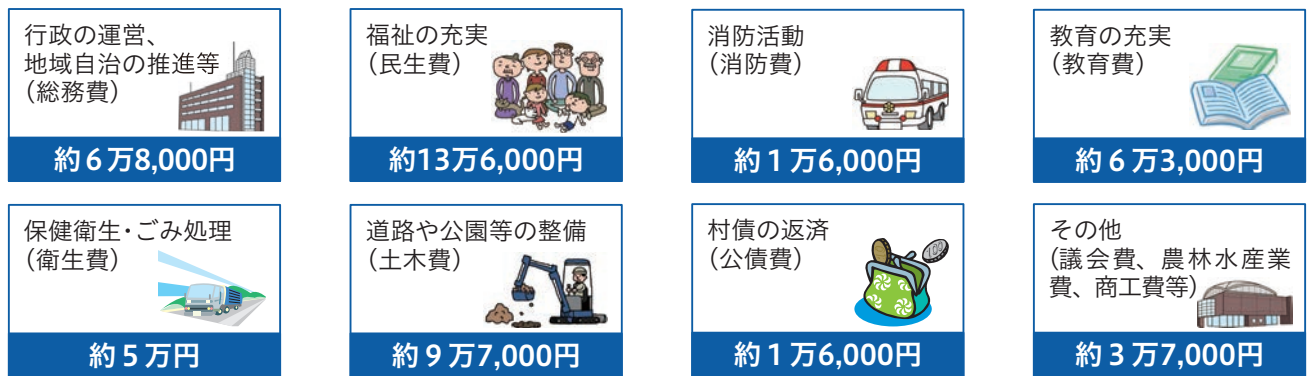
村のお財布事情を一言で表すと…？

- ✓ 歳入は村税が多いのが特徴で、年々減収している状況だよ。
- ✓ 歳出は民生費の占める割合が多くて、この割合はこれからも増えていく予定なんだ。
- ✓ 村債(借金)は、順調に返済できているね。これは大きな事業にかかるお金を基金(貯金)でまかなっているからなんだね。

健全な財政運営を
心掛けています



村民1人あたりに使われたお金は？



合計 約48万3,000円

※平成31年3月31日現在の住民基本台帳に基づく人口(3万8,302人)から算出しています。

財政の健全性を示す5つの指標

東海村は赤字や資金不足がないため、実質公債費比率を除く全ての項目で、数値が算出されませんでした。また、実質公債費比率についても危険度を示す25%を大幅に下回っており、村の財政は健全といえます。

東海村の財政の健全性

①実質赤字比率

一般会計を中心とした赤字の割合	H28	H29	H30	対前年度比
	なし	なし	なし	—

②連結実質赤字比率

全ての会計（一般会計、特別会計、公営企業会計）の赤字の割合	H28	H29	H30	対前年度比
	なし	なし	なし	—

③実質公債費比率

年間の借金返済額の割合	H28	H29	H30	対前年度比
	4.0	4.4	4.3	△0.1

④将来負担比率

将来負担が見込まれる負債の割合	H28	H29	H30	対前年度比
	なし	なし	なし	—

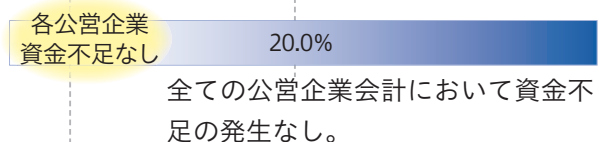
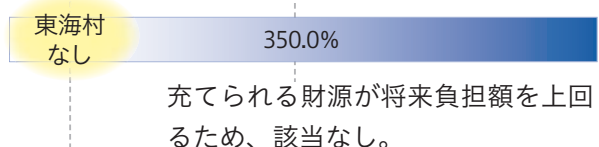
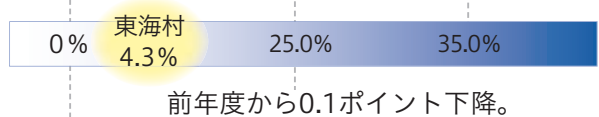
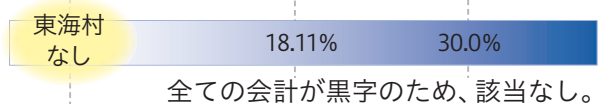
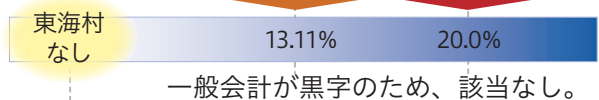
⑤資金不足比率

公営企業ごとの資金の不足額の大きさを示す割合			
H28	H29	H30	対前年度比
資金不足なし	資金不足なし	資金不足なし	—

財政良好 ← 財政悪化

早期健全化基準

財政再生基準



“東海村さん家”の家計簿

～もしも東海村が、年収約600万円の家庭だったら～

村の財政規模は、金額が大きすぎて実感が湧かないかもしれません。そこで、一般会計決算を約3000分の1の額とし、家計簿(年度分)に置き換えてみました。約600万円の年収に換算した場合の東海村のやりくりがどのようなものか見てみましょう。

収入

他に頼らないお金
(自主財源)73%

給与 (村税、分担金・負担金、使用料・手数料)	386万円
預貯金からの引き出し (繰入金)	46万円
前年度からの繰り越し (繰越金)	24万円
雑収入 (諸収入、財産収入)	8万円
親からの仕送り (地方譲与税、地方交付税、国・県支出金等)	169万円
ローン借入れ (村債)	0円
合計	633万円

●東海村さん家の収入の特徴



給与(村税など)や預貯金からの引き出し(繰入金)など、他に頼らないお金のことを「自主財源」と言います。収入の中でも給与は全体の61%を占めており、預貯金から引き出したお金などと合わせると、全体の73%を占めます。また、ローンの借入れ(村債)はありません。

支出

必ず支払うお金
(義務的経費)35%

食費 (人件費)	107万円
医療費、学費 (扶助費)	88万円
ローン返済 (公債費)	21万円
光熱水費・日用品の購入費 (物件費)	116万円
自宅の増改築・修繕 (維持修繕費、普通建設事業費、災害復旧事業費)	94万円
子どもへの仕送り (繰出金)	92万円
会費、保険、友人への支援 (補助費等)	75万円
貯金 (積立金、投資・出資金、貸付金)	20万円
合計	613万円

●東海村さん家の支出の特徴

食費(人件費)や医療費・学費(扶助費)など、必ず支払うお金のことを「義務的経費」と言い、支出の中でも35%を占めています。

やりくり(財政運営)のポイント

自主財源のみでは必要経費を全て賄うことはできないため、親からの援助(地方譲与税など)を得ながら、やりくりしています。現在、預貯金が411万円、ローン残高(一般会計に係るもの)が75万円です(右図参照)。



ローン残高
(一般会計のみ)



※平成30年度末の「預貯金」と「ローン」の残高

村の平成30年度決算を見ると、健全な財政状況と言えますが、今後の税収減を見据え、継続的に安定した行政サービスを行えるよう中長期的な見通しを立てて、事業を行っていきます。次年度以降も引き続き、限られた財源を有効に活用し、適正で効率的な予算執行に努めます。



山田村長